

The SCSK logo is displayed in a bold, white, sans-serif font. The letters are closely spaced, with the 'S' and 'C' being particularly prominent. The background is a dark blue with several thin, white, curved lines that sweep across the page, creating a sense of motion and modernity.

夢ある未来を、共に創る。

11年度(12年3月期)業績及び 12年度(13年3月期)業績予想について

取締役 常務執行役員
福永 哲弥

SCSK株式会社
2012年 5月 1日

I. 11年度(12年3月期) 連結業績	
(1) 業績概要 P2
(2) 連結貸借対照表 P3
(3) 業績概要(プロフォーマ比較) P4
(4) 売上高比較(売上区分別) P5
(5) 売上高比較(業種別) P6
(6) セグメント別業績 P7
(7) 営業利益分析 P8
II. 12年度(13年3月期) 連結業績予想 P9
III. その他	
(1) 有利子負債の状況 P10
(2) 配当予想 P11

I (1) 業績概要

前期: SCS(4-3月)

当期: SCSK(4-3月)

(単位:百万円)

	10年4月 ~ 11年3月	11年4月 ~ 12年3月	増減額	増減率
売上高	132,840	200,326	67,486	50.8%
売上総利益	29,048	46,370	17,321	59.6%
販管費	21,971	33,490	11,518	52.4%
営業利益	7,076	12,879	5,803	82.0%
経常利益	7,343	16,659	9,315	126.8%
当期純利益	3,803	25,669	21,866	574.9%

I (2) 連結貸借対照表

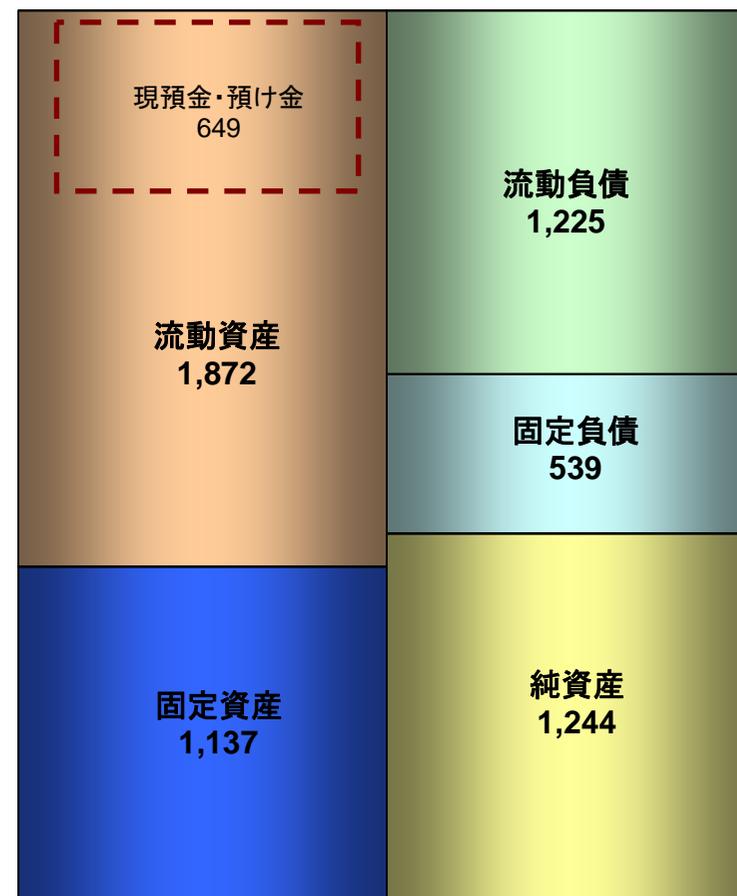
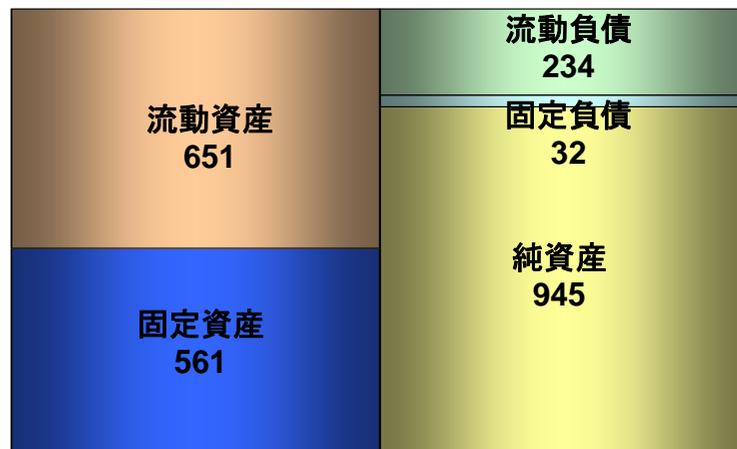
(単位: 億円)

2011年3月31日時点
SCS

2012年3月31日時点
SCSK

総資産 3,009

総資産 1,212



I (3) 業績概要 (プロフォーマ比較)

前期: SCS(4-3月)+CSK(10-3月)

当期: SCSK(4-3月)

(単位:百万円)

	10年4月 ~ 11年3月	11年4月 ~ 12年3月	増減額	増減率
売上高	205,071	200,326	△4,744	△2.3%
売上総利益	45,782	46,370	587	1.3%
販管費	33,891	33,490	△401	△1.2%
営業利益	11,890	12,879	989	8.3%
経常利益	10,160	16,659	6,499	64.0%
当期純利益	3,847	25,669	21,821	567.1%

I (4) 売上高比較(売上区分別)

前期: SCS(4-3月)+CSK(10-3月)

当期: SCSK(4-3月)

(単位:百万円)

	10年4月~11年3月 (構成比)	11年4月~12年3月 (構成比)	増減額	増減率
ソフトウェア開発	76,279 (37.2%)	73,771 (36.8%)	△2,507	△3.3%
情報処理※	70,646 (34.5%)	70,252 (35.1%)	△394	△0.6%
システム販売	56,417 (27.5%)	54,579 (27.2%)	△1,837	△3.3%
プリペイドカード・ その他	1,727 (0.8%)	1,722 (0.9%)	△5	△0.3%
合計	205,071 (100.0%)	200,326 (100.0%)	△4,744	△2.3%

※情報処理にはCSKのBPO売上高を含んでおり、当該売上高は「前期 16,202百万円、今期 15,609百万円」です。

[受注高] ソフトウェア開発	75,250	73,275	△1,975	△2.6%
[受注残高] ソフトウェア開発	25,030	24,747	△283	△1.1%

I (5) 売上高比較(業種別)

前期: SCS(4-3月)+CSK(10-3月)

当期: SCSK(4-3月)

(単位:百万円)

	10年4月～11年3月		11年4月～12年3月		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
製造	55,859	27.2%	59,379	29.6%	3,520	6.3%
流通	39,498	19.3%	37,783	18.9%	△1,714	△4.3%
金融	37,972	18.5%	35,729	17.8%	△2,242	△5.9%
銀行	11,736	5.7%	12,224	6.1%	488	4.2%
証券	4,746	2.3%	5,182	2.6%	436	9.2%
信販・リース	8,577	4.2%	5,299	2.6%	△3,277	△38.2%
生保・損保	12,912	6.3%	13,022	6.5%	109	0.9%
通信・運輸	25,808	12.6%	24,012	12.0%	△1,795	△7.0%
電力・ガス	2,767	1.4%	2,109	1.1%	△657	△23.8%
サービス	27,149	13.2%	25,610	12.8%	△1,538	△5.7%
その他※	16,016	7.8%	15,700	7.8%	△315	△2.0%
合計	205,071	100.0%	200,326	100.0%	△4,744	△2.3%

※その他には、プリペイドカード事業及びCSK撤退事業(前期のみ)を含む。

I (6) セグメント別業績

前期: SCS(4-3月)+CSK(10-3月)

当期: SCSK(4-3月)

(単位:百万円)

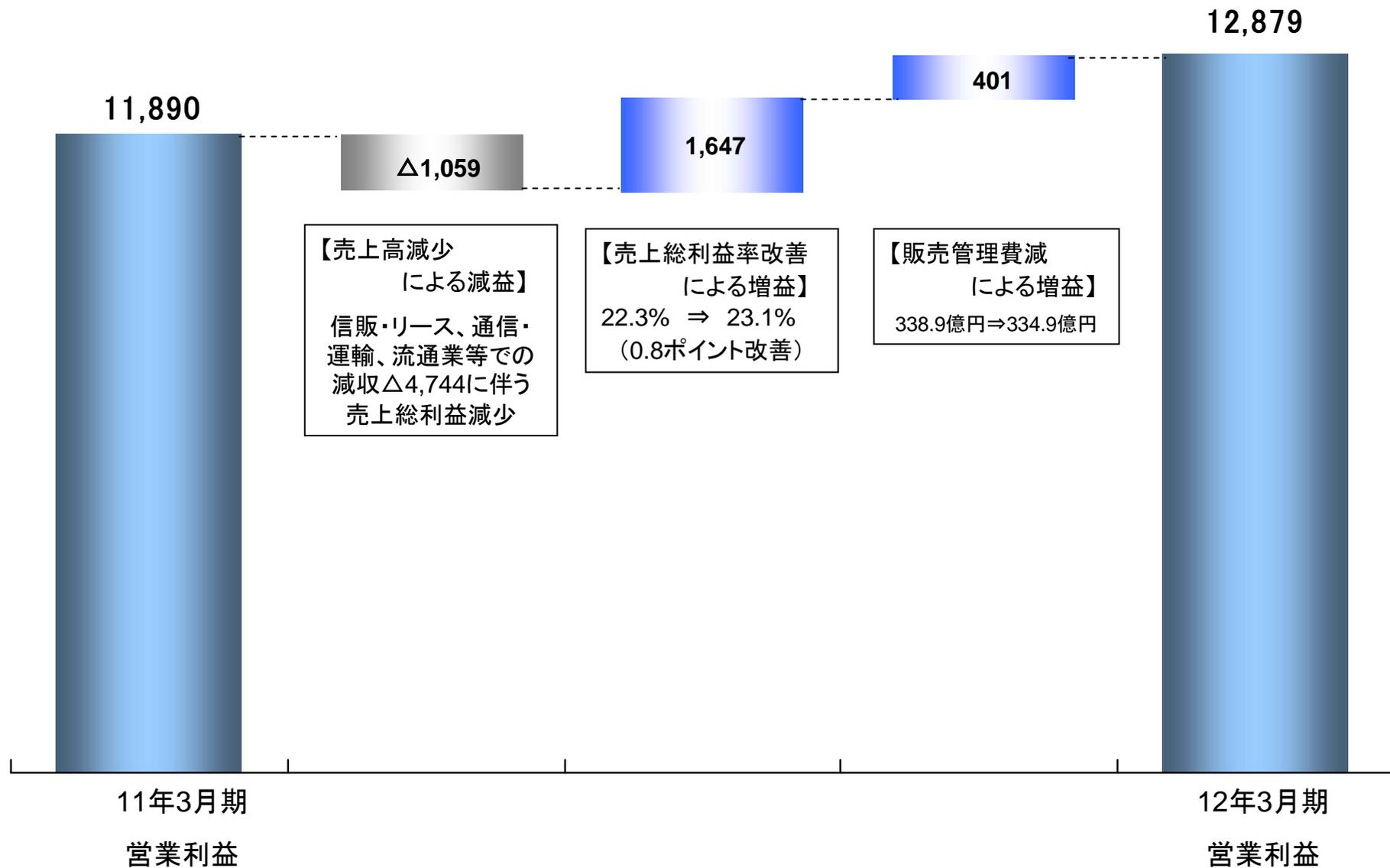
		10年4月～11年3月	11年4月～12年3月	増減額	増減率
流通・製造 ソリューション	売上高	35,729	36,212	483	1.4%
	セグメント利益	1,994	1,970	△24	△1.2%
金融・ERP ソリューション	売上高	22,243	19,124	△3,118	△14.0%
	セグメント利益	214	321	106	49.8%
グローバル ソリューション	売上高	17,755	15,461	△2,294	△12.9%
	セグメント利益	1,996	2,040	43	2.2%
プラットフォーム ソリューション	売上高	49,182	49,536	354	0.7%
	セグメント利益	3,276	3,615	339	10.4%
システム開発	売上高	36,958	37,976	1,018	2.8%
	セグメント利益	3,280	3,064	△216	△6.6%
ITマネジメント	売上高	17,343	16,803	△539	△3.1%
	セグメント利益	1,141	1,776	635	55.7%
BPO	売上高	16,202	15,609	△592	△3.7%
	セグメント利益	424	122	△301	△71.1%
プリペイドカード	売上高	1,709	1,722	12	0.8%
	セグメント利益	218	411	192	87.8%
その他	売上高	7,947	7,879	△67	△0.9%
	セグメント利益	229	460	231	101.1%
調整額	売上高	—	—	—	—
	セグメント利益	△885	△904	△18	—
合計	売上高	205,071	200,326	△4,744	△2.3%
	セグメント利益	11,890	12,879	989	8.3%

I (7) 営業利益分析

前期: SCS(4-3月)+CSK(10-3月)

当期: SCSK(4-3月)

(単位:百万円)



Ⅱ. 業績予想

(単位:百万円)

	11年4月 ～ 12年3月	12年4月 ～ 13年3月 (予想)	増減額	増減率
売上高	268,706	280,000	11,294	4.2%
売上総利益	62,049	65,000	2,950	4.8%
販管費	45,122	46,500	1,378	3.1%
営業利益	16,927	18,500	1,572	9.3%
経常利益	20,495	17,800	△2,695	△13.1%
当期純利益	27,944	15,000	△12,944	△46.3%

※11年4月～12年3月は、SCSK通期にCSK上期を単純合算したプロフォーマ数値

Ⅲ(1)有利子負債の状況

(単位:億円)

	11年10月1日	増減	12年3月31日
借入金	248	△50	198
新株予約権付社債	350	—	350
有利子負債	598	△50	548
優先株式	300	—	300
有利子負債+優先株式	898	△50	848
現預金及び預け金	588	+61	649

Ⅲ(2) 配当予想

(単位:百万円)

	11年3月期 実績	12年3月期 実績	13年3月期 予想
年間配当金	32円	32円	36円
年間配当総額	1,606	2,465	3,731
当期純利益	3,803	25,669	15,000
配当性向	42.0%	9.6%	24.9%

<参考:実効税率ベース>

当期純利益	3,803	2,249	10,000
配当性向	42.0%	109.6%	37.3%

＜当資料利用上の留意点＞

1. 当資料上では、特に断りがない限り連結決算を前提とした数値を記載しております。
2. 当社は、2011年10月1日付けで住商情報システム株式会社（SCS・存続会社）と株式会社CSK（CSK・非存続会社）が合併により、SCSK株式会社となりました。通期連結業績の開示にあたり、連結財務諸表規則等に準拠したもの（下記（1））に加え、前年同期との業績比較や分析に資するため、下記（2）の比較資料を掲載しております。

（1）P2の資料は、連結財務諸表規則等に準拠した決算数値であり、前期数値は合併以前の期間（2011年9月30日以前）のCSKは含めておりません。

（2）P4～P8の資料は、新会社SCSKとして前年同期との業績比較・分析に資するため、前期数値においては、SCSの通期決算数値と、CSKの下半期決算数値を便宜的に単純合算したプロフォーマ数値を使用しております。なお、セグメント別業績におけるCSKのセグメントは、業績の比較有用性確保の観点から、前下半期についても、合併以降の全社費用の配分方法を適用しております。また、P9の業績予想においては、SCSK通期にCSK上半期決算数値を単純合算した11年4月～12年3月プロフォーマ数値と12年4月～13年3月期の予想数値を比較しています。

＜免責事項＞

- ・本資料は、当社グループの業績及びグループ事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社及び当社グループ会社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- ・本説明会及び資料の内容には、将来の業績に関する意見や予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現・達成を約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。
- ・本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。また、本資料の無断での複製、転送等を行わないようお願い致します。

【ご参考】 2012/1～2012/4 プレスリリース一覧①

データセンター

- 12.04.04 netXDC大阪第1センター、関西BCP支援データセンターとして強化・拡充
- 12.04.25 SCSKのnetXDC三田センター、FISC基準最新第8版(平成23年度)/JEITA基準による情報システム安全対策適合証明を含む「JQA情報セキュリティ適合証」を受領

クラウド

- 12.02.27 リバーベッド製ソフトウェア ロードバランサ/アプリケーション・デリバリ・コントローラ「Stingray Traffic Manager」をGMOクラウドで提供開始
- 12.04.05 リバーベッド製ソフトウェア ロードバランサ/アプリケーション・デリバリ・コントローラ「Stingray Traffic Manager」を「IDCフロンティア クラウドサービス」にて提供開始

ERP

- 12.03.13 3社ノウハウを融合した「Oracle EBS最適化サービス」を協同提供開始
- 12.04.24 「Oracle Database Appliance」活用による災害・障害対策ソリューションを展開

ストレージ

- 12.02.24 Violin Memory社製 大容量・高速フラッシュストレージアレイ「V-6000シリーズ」の販売を開始
- 12.03.09 米国Virident Systems社製フラッシュストレージ「FlashMAX™」がNECのSAP HANA向けアプライアンスサーバ「NEC High-Performance Appliance for SAP HANA」に採用
- 12.03.28 SCSK株式会社、Violin MemoryとFalconStor NSSを組み合わせ、大容量・超高速仮想フラッシュストレージソリューションの提供を開始

【ご参考】 2012/1～2012/4 プレスリリース一覧②

Curl

- 12.01.17 プレス 日立オートモティブシステムズ株式会社が「予実算管理システム」「経営ポータル」にリッチクライアントRIAテクノロジー「Curl」を採用
- 12.04.11 大同メタル工業株式会社がメインフレームの基幹システムを刷新 新システムにリッチクライアントRIAテクノロジー「Curl」を採用

その他

- 12.03.21 セキュリティエキスパートによる監視サービス「Protection Expert/Webアプリケーションセキュリティ監視サービス」を発表
- 12.03.26 クレアリンクテクノロジー社製 次世代WAN高速化製品「RAPICOMシリーズ」の販売を開始
- 12.03.29 ワンソース・マルチユースのモバイル開発環境「Caede」ベータ版を提供開始
- 12.03.30 SCSKと日本能率協会コンサルティング、最適生産管理システム構築で協業
- 12.04.18 明治学院大学の学内ネットワークをスイッチ・ルータ製品「AXシリーズ」のネットワーク仮想化によりシンプル化
- 12.04.20 Androidタブレットを活用した医薬情報担当者(MR)向けデジタルプレゼンテーションシステム「MR2GO-DMV(エムアール・ツー・ゴー ディーエムブイ)」をアステラス製薬へ提供
- 12.04.20 東京証券取引所の設計書を対象とした実験で形式手法の有効性を実証
- 12.04.23 ユーザーインターフェース・コンテンツ開発支援ツール「アクロアーツ」新機能を追加して本格提供開始